



19世紀のしかけ本再現

万博の光景立体的に

グランフロント大阪（大阪市北区）のナレッジキャピタルにて、梅花女子大と凸版印刷株式会社のコラボレーションによる展示が行われている。「超アナログ！でも3D？のぞきこみシアター」と題し、最新の印刷技術を用いて同大の所蔵する貴重な「しかけ本」を再現。実物を拡大して立体的な空間を作り出した。展示は来年1月31日まで行われる。

凸版印刷が専用のスキャニング台を制作し、19世紀にイギリスで作られたという蛇腹型のしかけ本をスキャニング。さらに、読み込んだデータを実物と同じ比率で拡大し

て印刷し、巨大なしかけ本として再現したのが今回の展示だ。実物と比べると表面積は約25倍、奥行きは約6倍だという。全部で9枚のパネルが一定の間隔で並べてあ



今回の展示で再現されているしかけ本

グランフロント大阪北館・ナレッジキャピタル「The Lab.」3階にて来年1月31日まで展示中

梅花女子大 × 凸版印刷

り、正面ののぞきこみ穴からのぞくと、立体的に見えるという仕組みになっている。

今回の展示で再現されているしかけ本は、1851年のロンドン万国博覧会の光景が描かれた絵本だ。世界中を探してもなかなか見つからず、どれくらい現存しているのかも不明だという。梅花女子大では、閲覧には許可が必要など貴重な資料として慎重に扱われている。

資料をデジタル化することで、データとして閲覧できるようになった。データならば、これまでよりも閲覧が容易になる。「誰でも見るようになるのでは」と梅花女子大企画部広報グループの木村明日香さんは話している。さらに、実物では確認が



のぞきこみ立体的な絵を見ることが出来る

難しかった部分も、見る事ができるようになった。細部に施された仕組みを新たに発見したという。凸版印刷と梅花女子大がそれぞれの持ち味

を生かして実現した今回の企画。貴重な資料をデータとして残すだけでなく、新たな発見につながる可能性を秘めている。（聞き手＝根原直希）

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
 ■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4F
 (TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは
 神戸大学ニュースネット委員会
 同志社大学 PRESS 編集部
 NEWS 立命通信社
 関学新月通信社
 阪大 POST 通信社

関西大学タイムス編集部
 神戸学院大学 K.C.Press 編集部
 京都女子大学藤花通信編集部
 京都大学 CLOCK 編集部
 の共同編集による週刊フリーペーパーです